

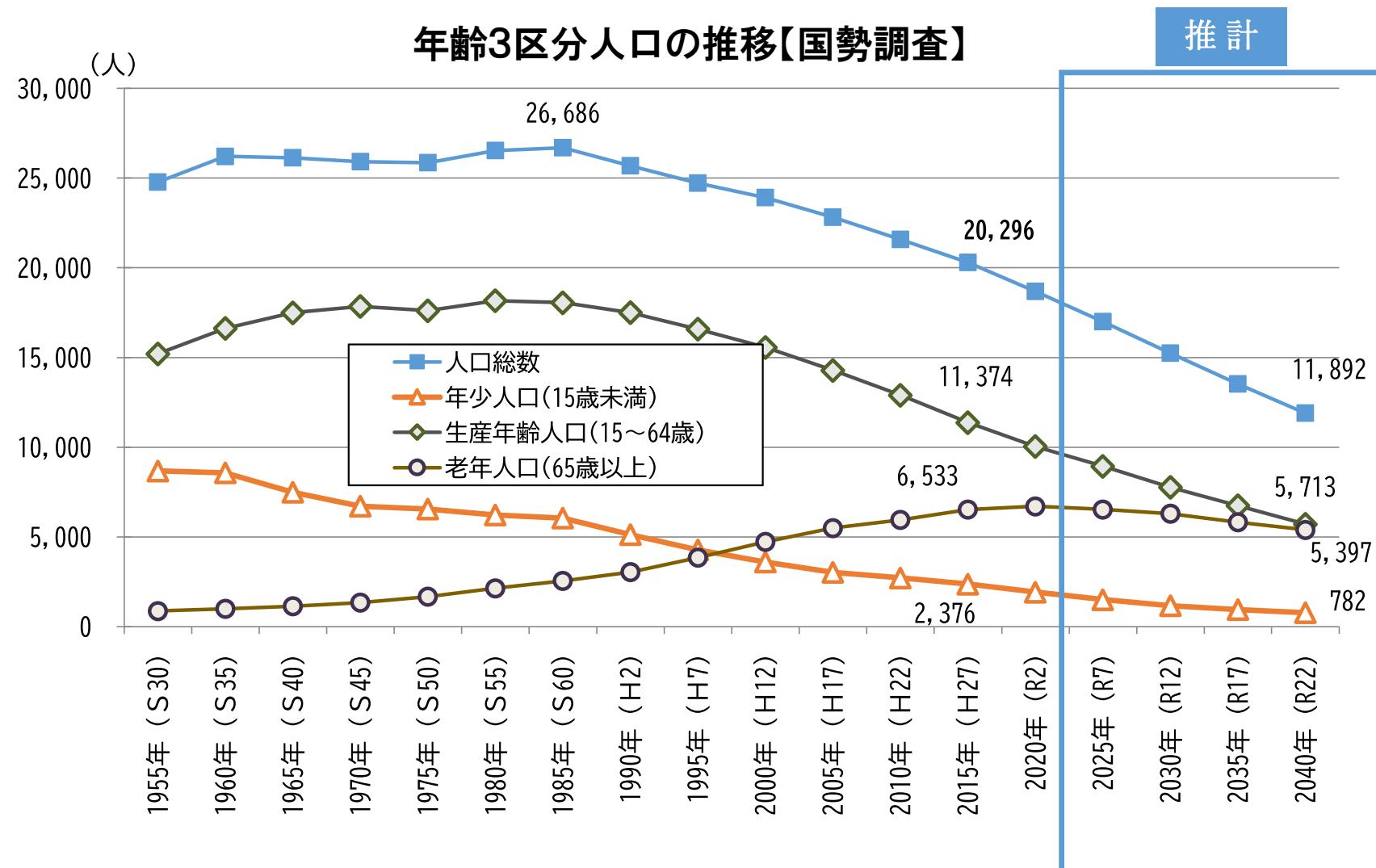
美幌総合計画策定

『びほろ』みらいまちづくり会議

2025年10月23日

1. 美幌町の人口推計

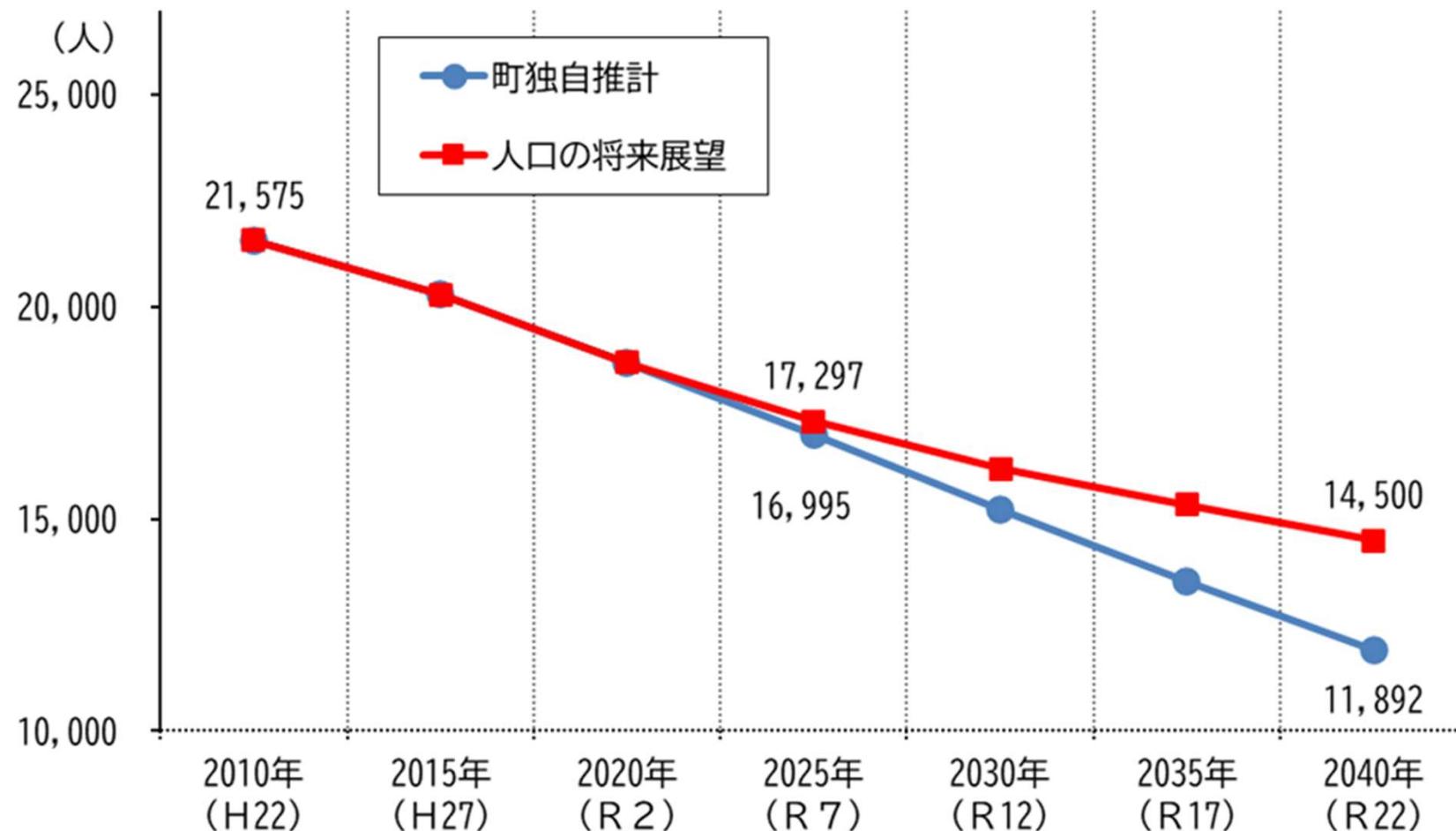
令和7年3月に策定した「第3期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、第3期総合戦略）」では、美幌町の将来人口（2040年）を以下のように推計しています。



※第3期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略より

近年の人口動態が今後も続くと仮定した町の独自推計では、2040年（令和22）の人口が「11,892人」まで減少すると見通しています。（赤線）一方、本町の人口減少対策の施策による効果が着実に反映された場合、2040年（令和22）の人口は「14,500人」となり、近年の人口動態が続いた推計値に比べ、約2,600人の施策効果が見通されています。（青線）

町の人口の長期的な見通し【町独自推計】



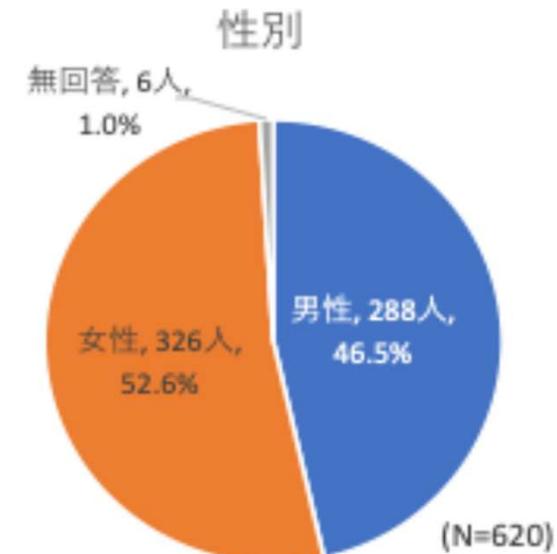
※第3期美幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略より

2. アンケート結果

(1) 性別

- 回答者の性別は、男性288人(46.4%)、女性326人(52.5%)となっています。

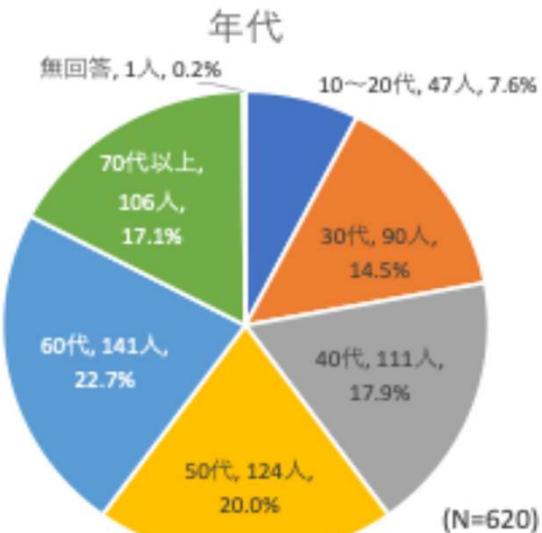
	実数	割合
全体	620	100.00%
男性	288	46.45%
女性	326	52.58%
無回答	6	0.97%



(2) 年代

- 回答者の年齢は、「60代(22.7%)」が最も多く、次いで「50代(20.0%)」、「40代(17.9%)」となっています。

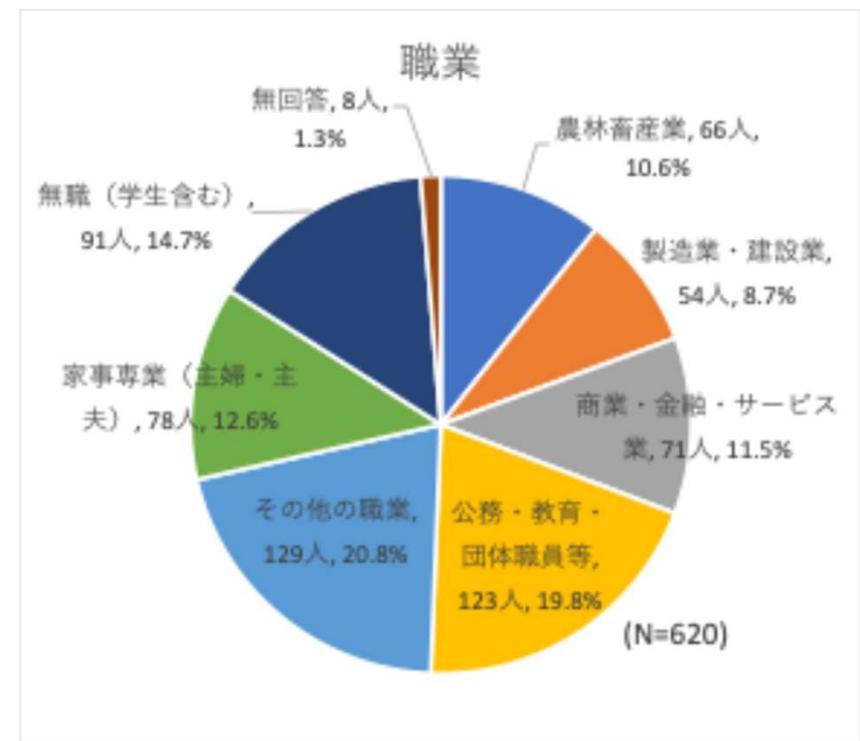
	実数	割合
全体	620	100.00%
10～20代	47	7.58%
30代	90	14.52%
40代	111	17.90%
50代	124	20.00%
60代	141	22.74%
70代以上	106	17.10%
無回答	1	0.16%



(3) 職業

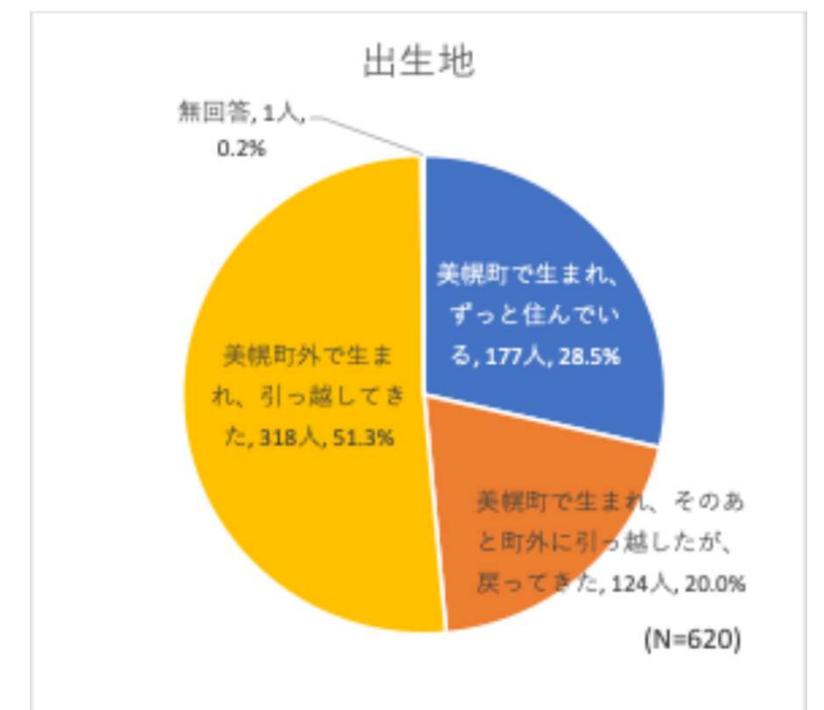
- 回答者の職業は、「その他職業(20.8%)」が最も多く、次いで「公務・教育・団体職員等(19.8%)」、「無職(14.7%)」となっています。

	実数	割合
全体	620	100.00%
農林畜産業	66	10.65%
製造業・建設業	54	8.71%
商業・金融・サービス業	71	11.45%
公務・教育・団体職員等	123	19.84%
その他の職業	129	20.81%
家事専業（主婦・主夫）	78	12.58%
無職（学生含む）	91	14.68%
無回答	8	1.29%



(4) 出身地

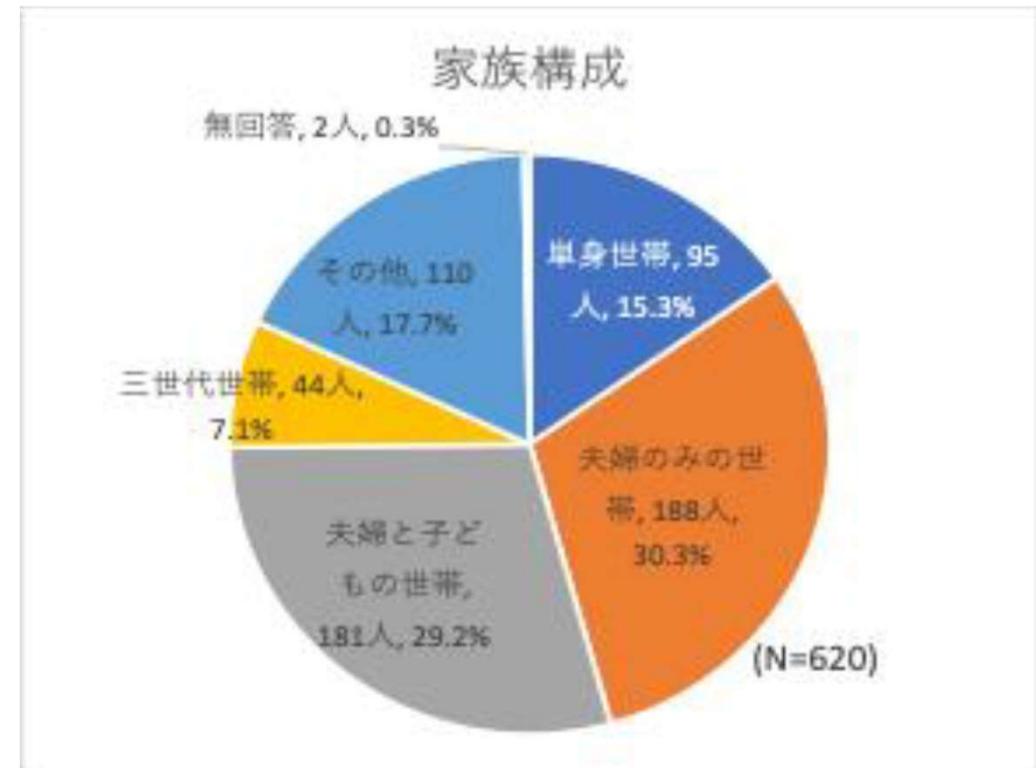
- 回答者の出身地は、「美幌町外で生まれ、引っ越してきた(51.3%)」が最も多く約半数となっています。次いで「美幌町で生まれ、ずっと住んでいる(28.5%)」となっています。



(5) 家族構成

- 回答者の家族構成は「夫婦のみの世帯(30.3%)」が最も多く、次いで「夫婦と子どもの世帯(29.2%)」が多くなっています。

	実数	割合
全体	620	100.00%
単身世帯	95	15.32%
夫婦のみの世帯	188	30.32%
夫婦と子どもの世帯	181	29.19%
三世代世帯	44	7.10%
その他	110	17.74%
無回答	2	0.32%



美幌町の住みやすさ

総合的に考えて、現在の美幌町の住みごこちはいかがですか。次の中からご自身の気持ちにあてはまるものを1つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

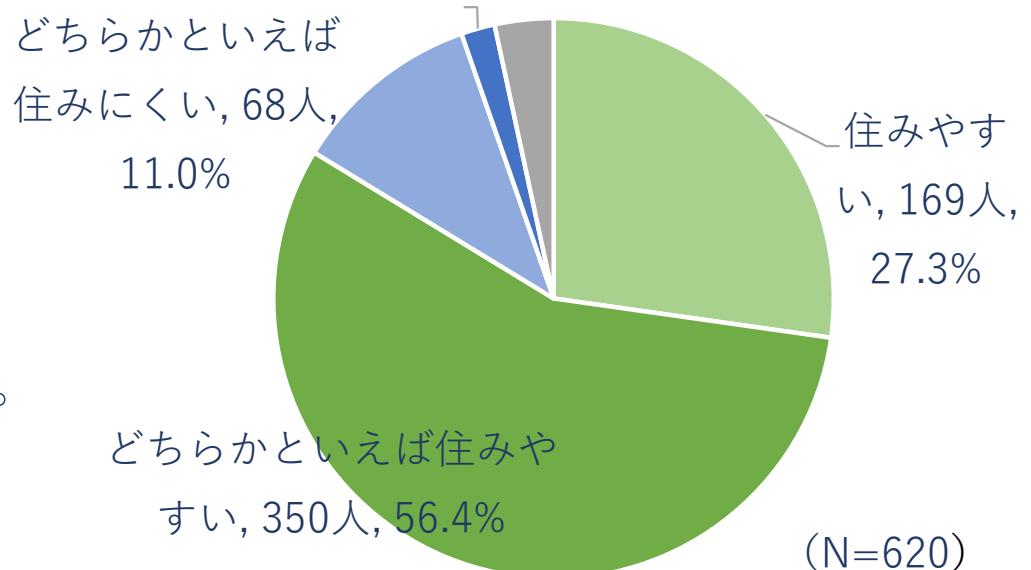
【結果】

「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」が合わせて83.7%と、約8割の方が住みよいと感じています。

前回のアンケート調査（平成26年度）と比べると、10代～20代、40代、50代、60代で住みやすいと回答している割合が増加しています。

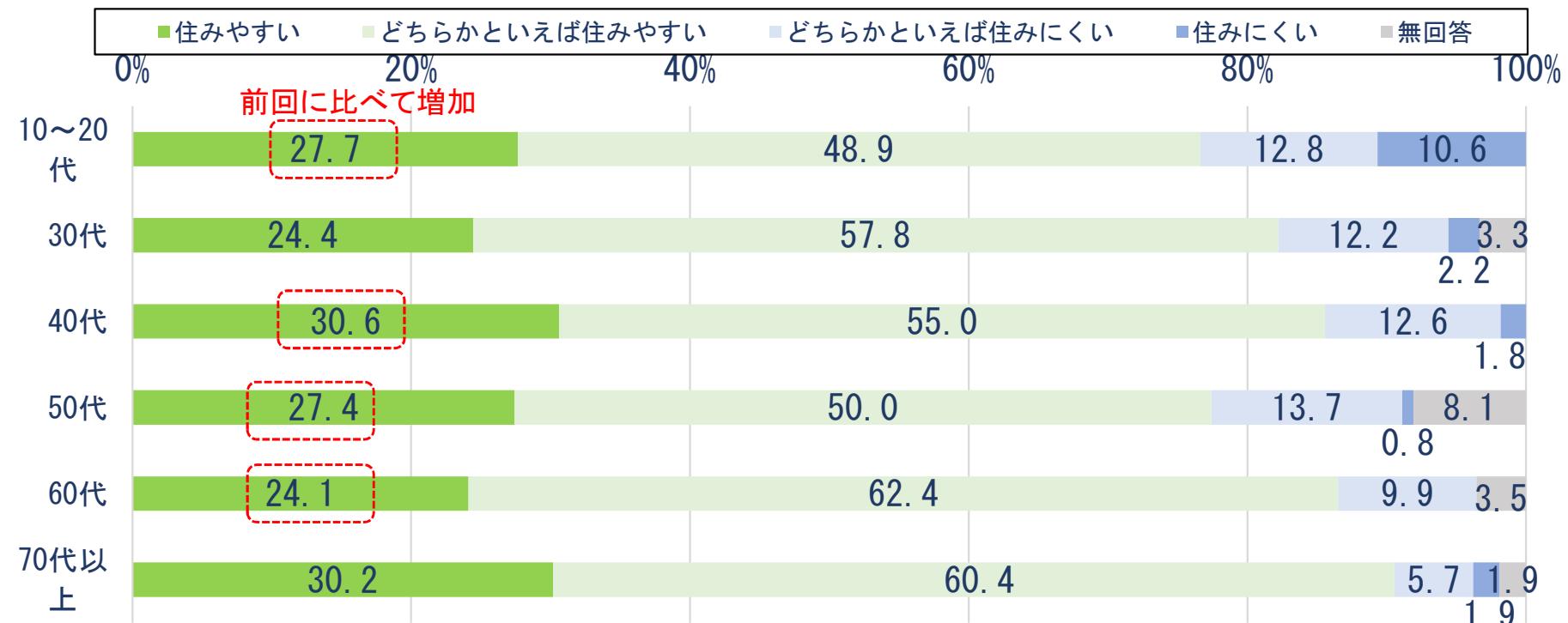
【問1】総合的に考えて、現在の美幌町の住みごこちはいかがですか。

住みにくく… 無回答, 21人, 3.4%

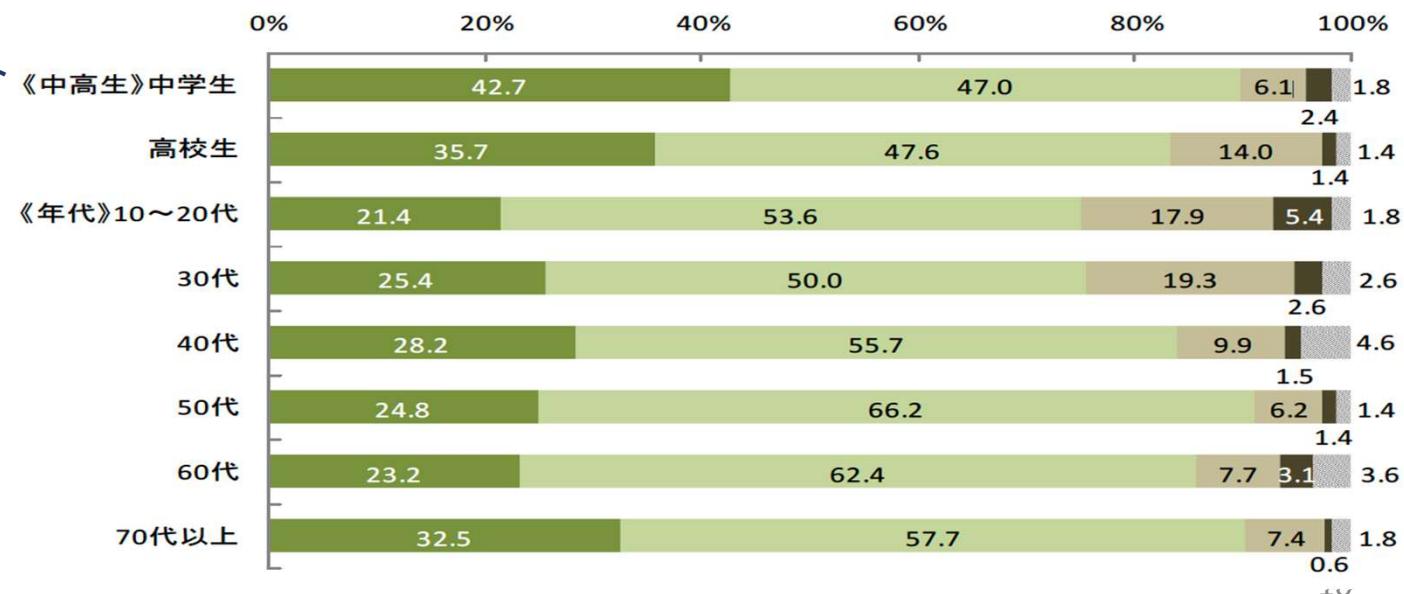


■今回アンケート

【問1】総合的に考えて、現在の美幌町の住みごこちはいかがですか。 (N=620)

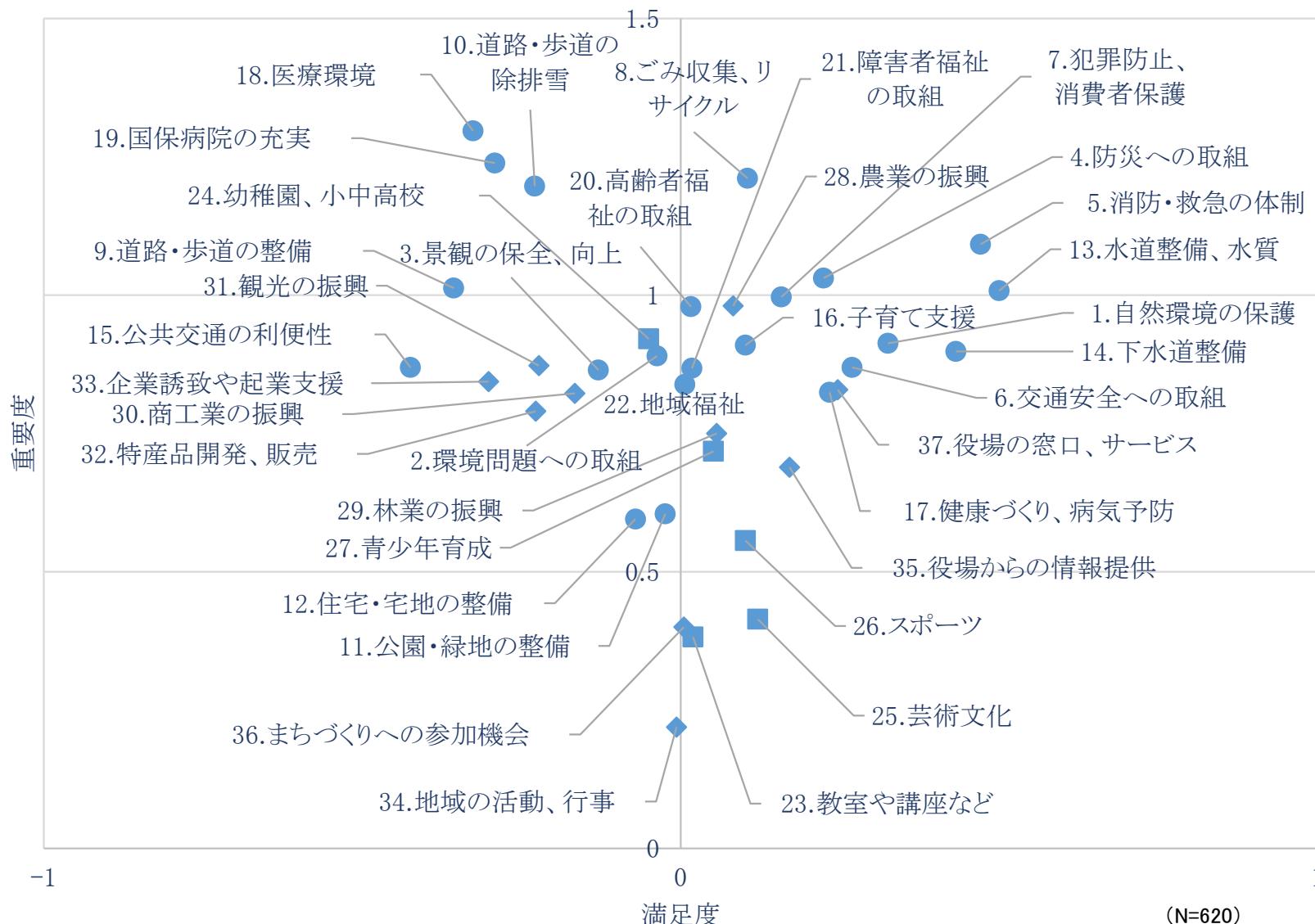


■平成26年度アンケート 《中高生》中学生 (10年前)

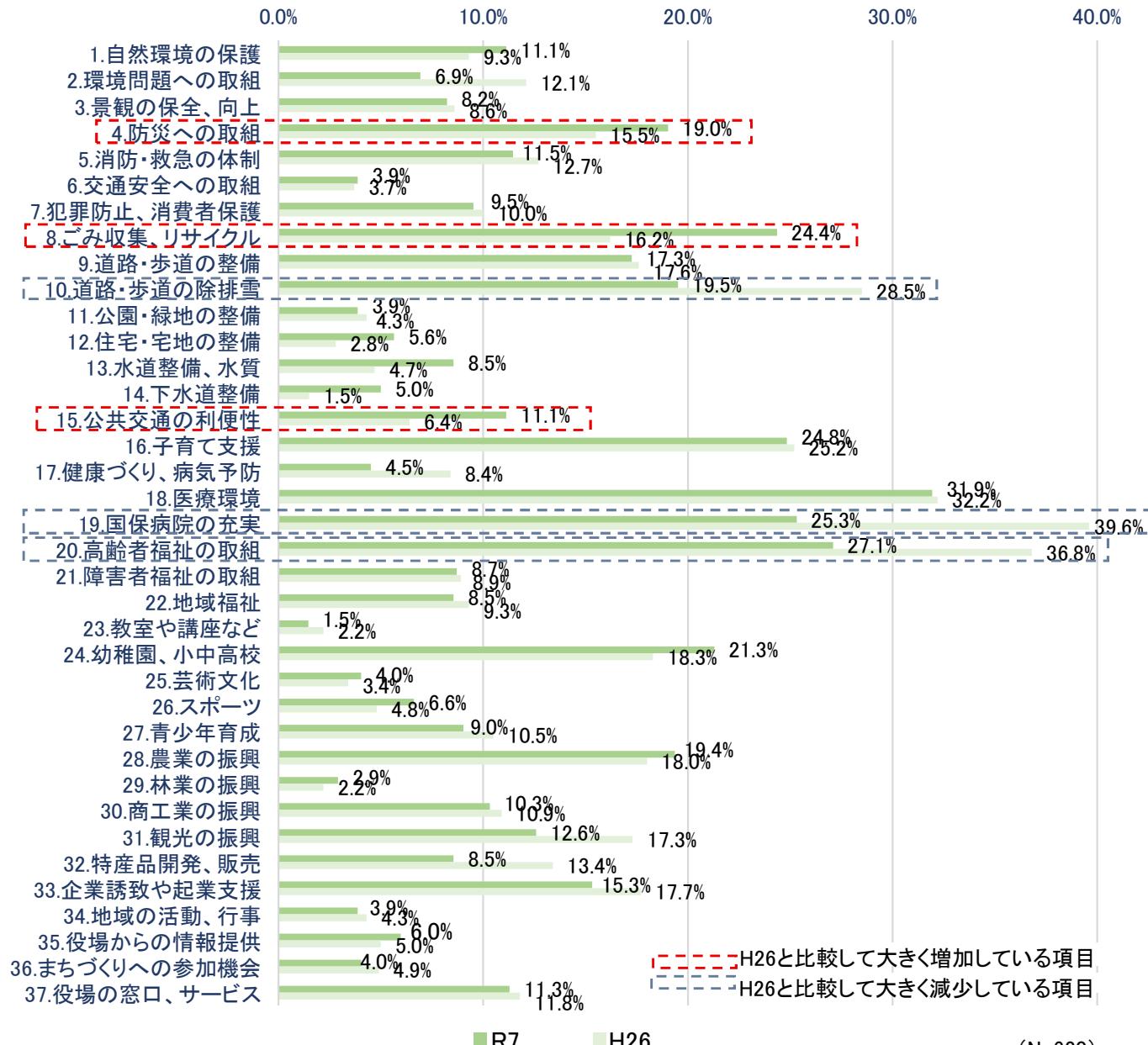


美幌町の暮らしに関する満足度と重要度について

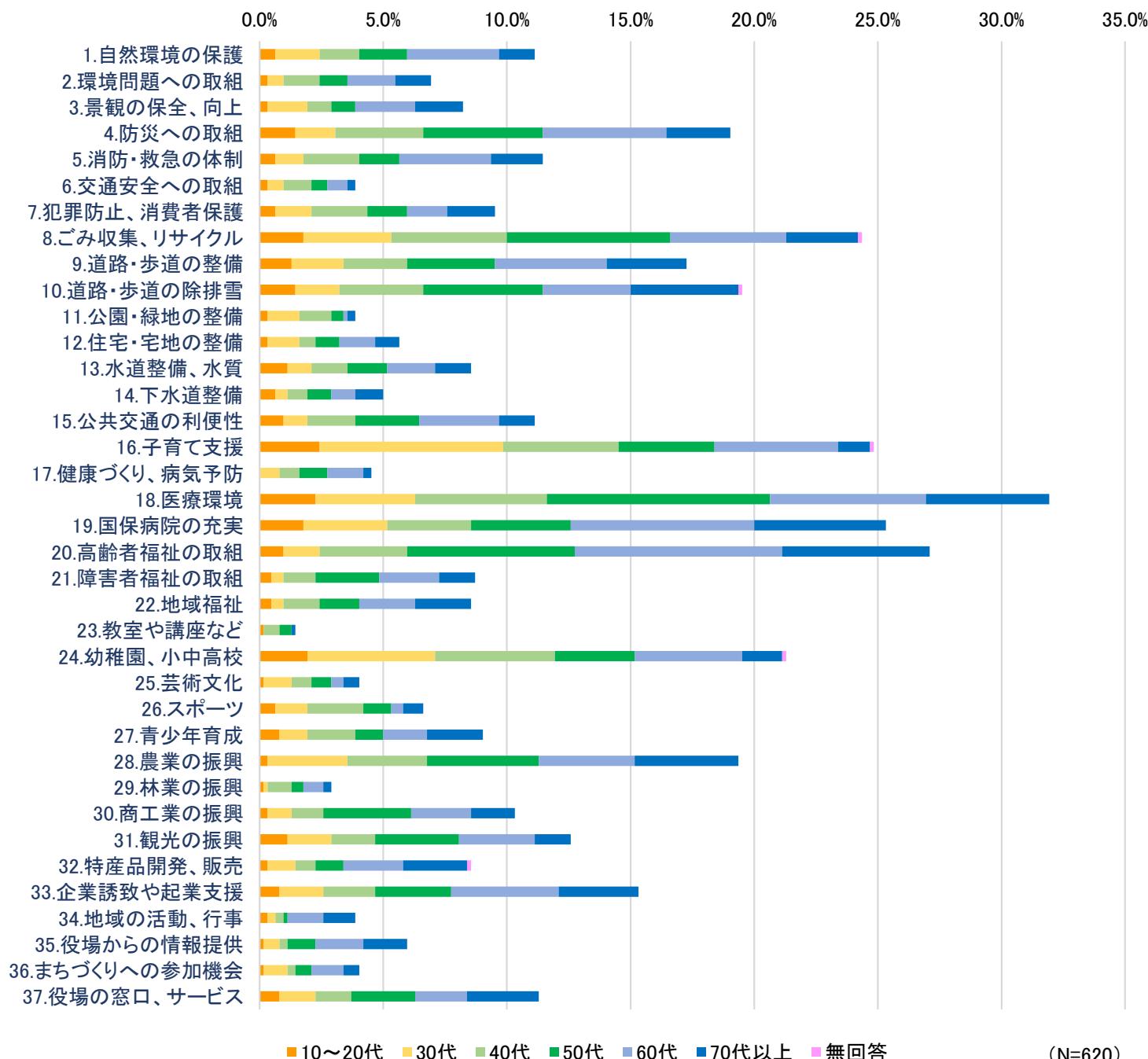
美幌町の暮らしについて、「満足度」及び「重要度」の回答を以下のように5段階で点数化し、その関係を整理した。



37項目の中で、今後のまちづくりで特に重要と思うものを5つまで選んで、下の枠に番号(1~37)をお書きください。



【問3】特に重要と思うもの(5つまで選択/町民620人) /年代別



■ 10~20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上 ■ 無回答

(N=620)

13

将来的な定住の意向

現在のお気持ちとして、これからも美幌町に住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選び、番号に○印をつけてください。

【結果】

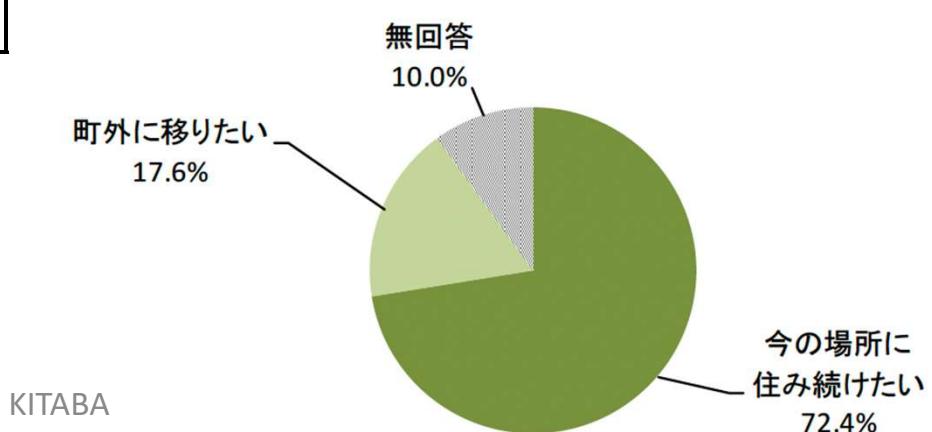
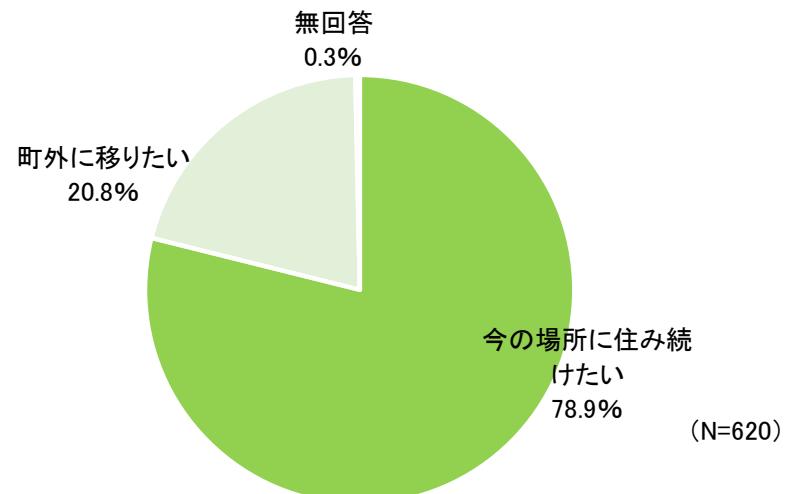
町民の定住の意向としては、「今の場所に住み続けたい（78.9%）」が最も多く、次いで「町外に移りたい（20.8%）」となりました。

10年前に比べて割合が増えています。

	割合
美幌町に住み続けたい	78.9%
町外に移りたい	20.8%
無回答	0.3%

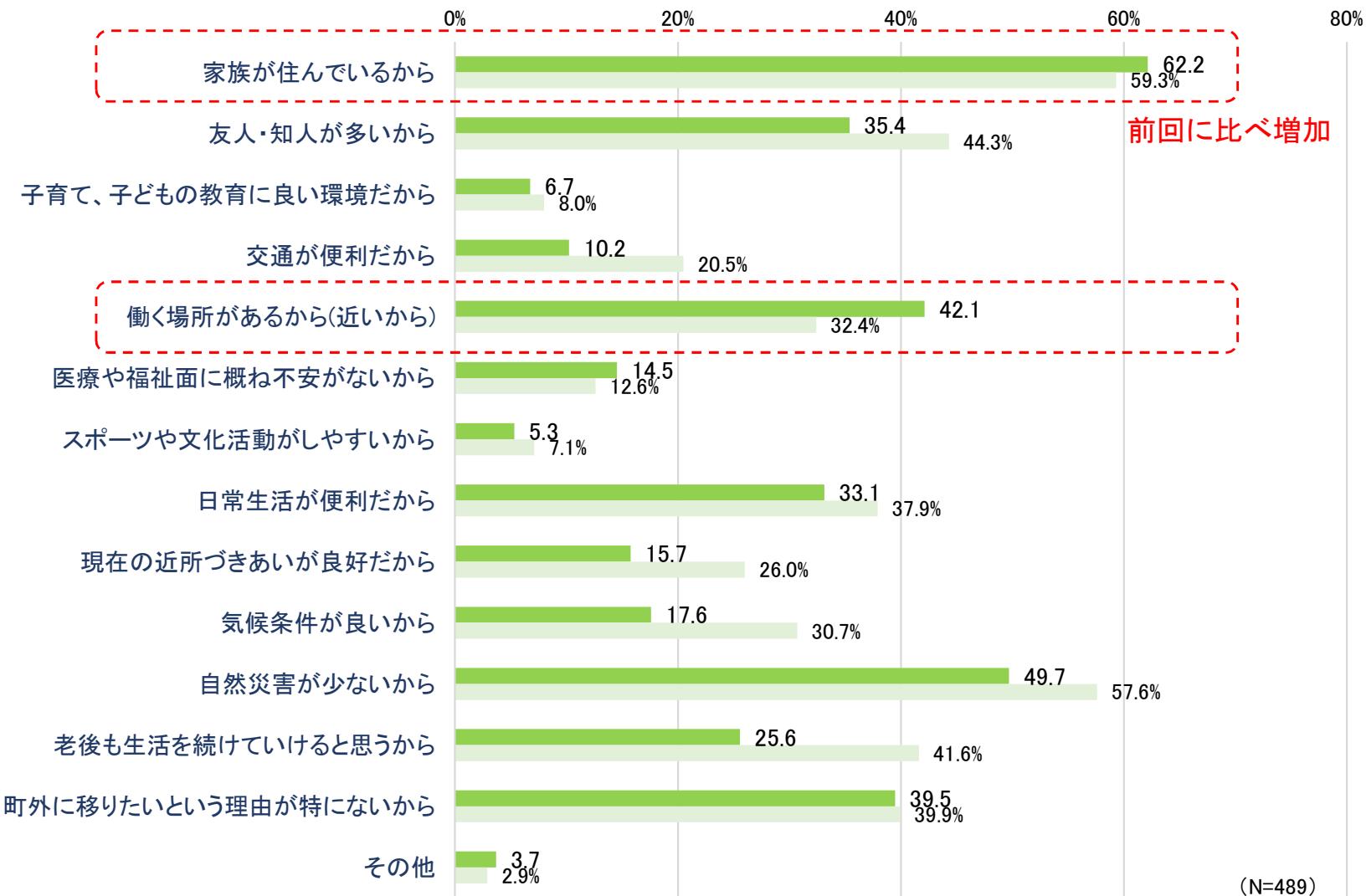
■平成26年度アンケート
(10年前)

【問4】現在のお気持ちとして、
これからも美幌町に住み続けたいと思いますか。



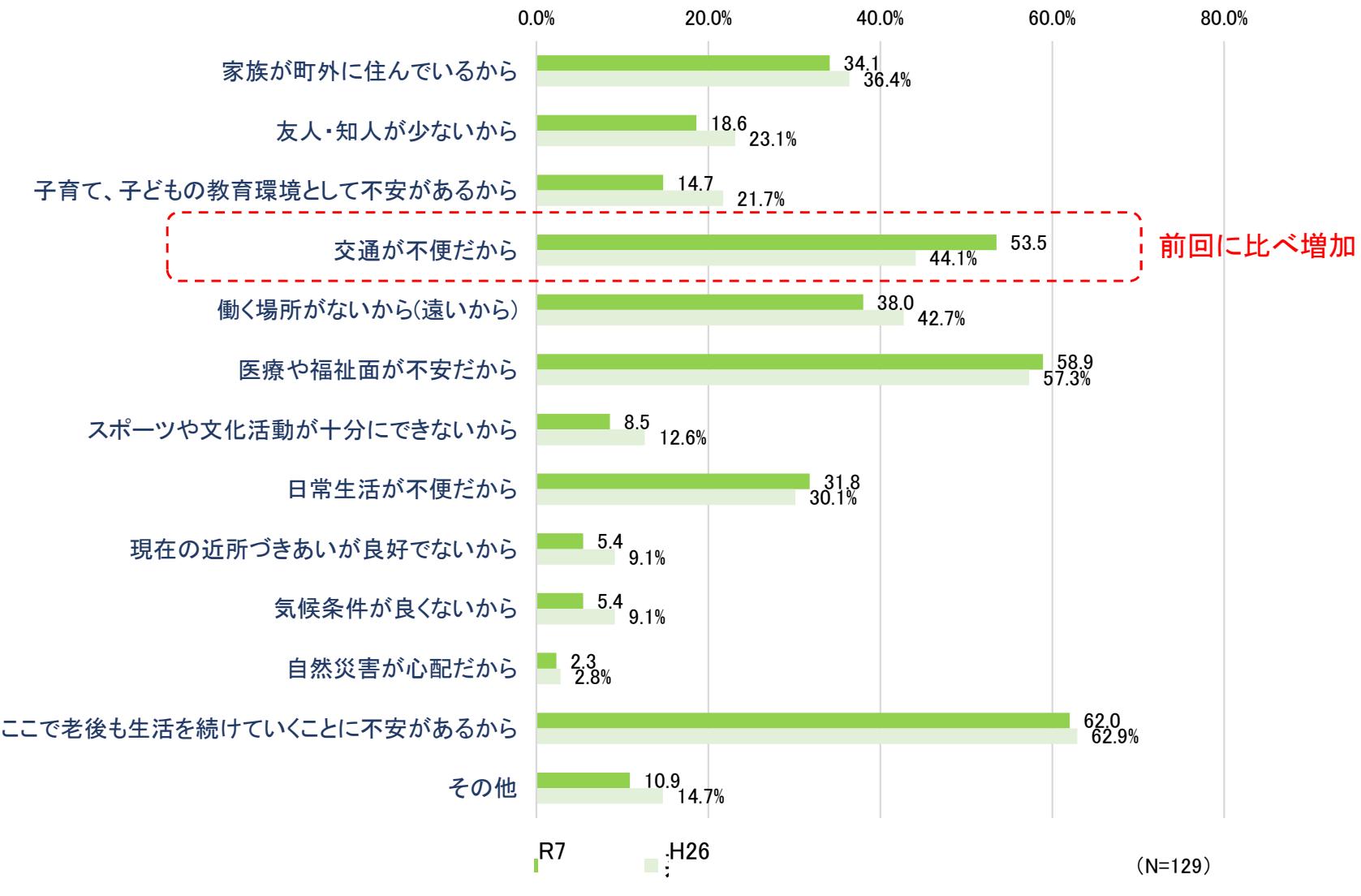
「美幌町に住み続けたい」を選んだ方にお尋ねします。その回答を選んだ理由について、あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

【問4-1】町内に住み続けたい理由(すべて選択/489人) / 前回との比較



「町外に移りたい」を選んだ方にお尋ねします。その回答を選んだ理由について、あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

【問4-2】町外に移りたい理由(すべて選択/129人) / 前回との比較

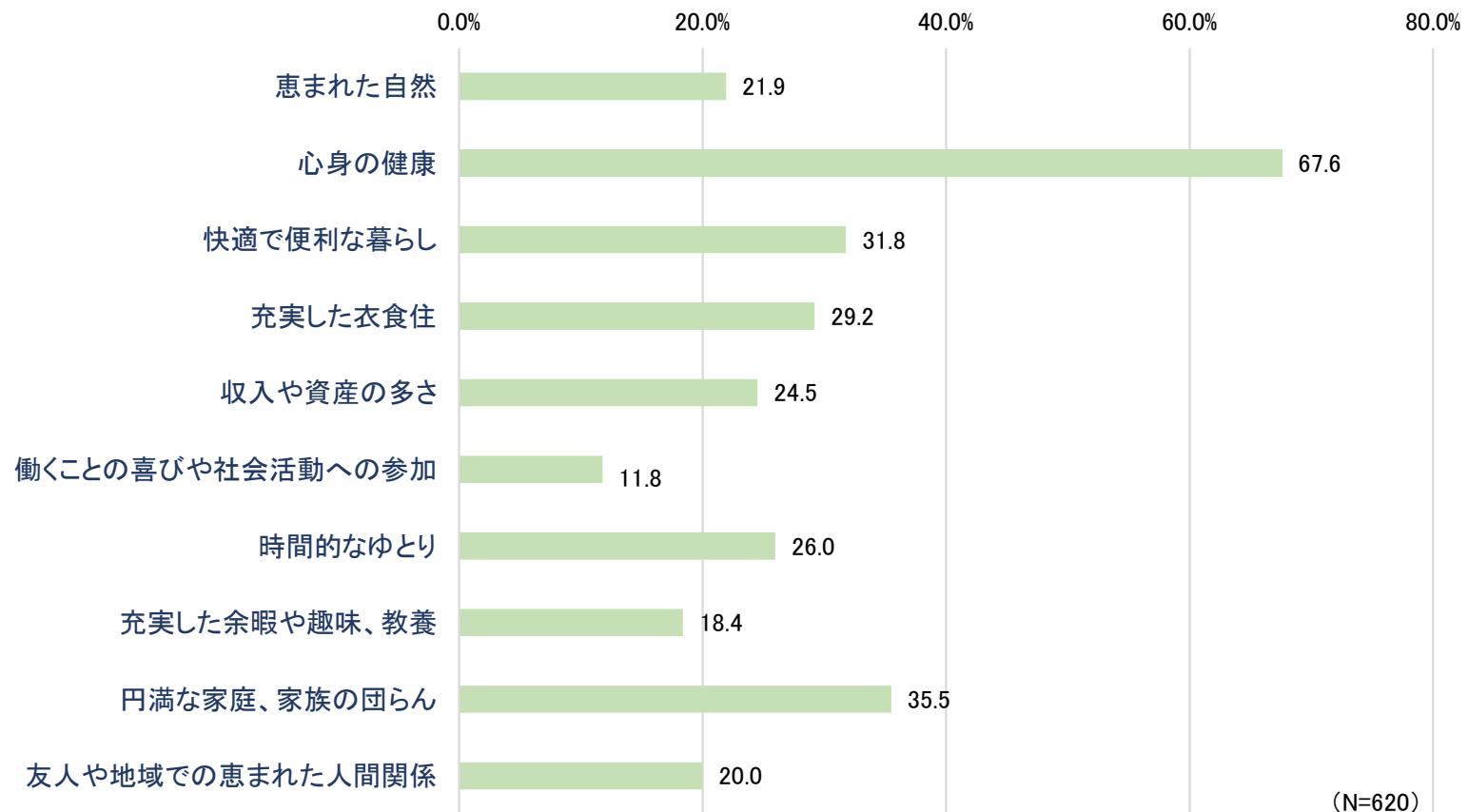


あなたにとって“豊かさ”とは何ですか。次の中から3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

【結果】

町民の「豊かな暮らし」のイメージとしては、「心身の健康（67.6%）」が最も多く、次いで「円満な家庭、家族の団らん（35.5%）」となりました。

【問5】「豊かさ」とはなんですか(3つまで選択/620人)

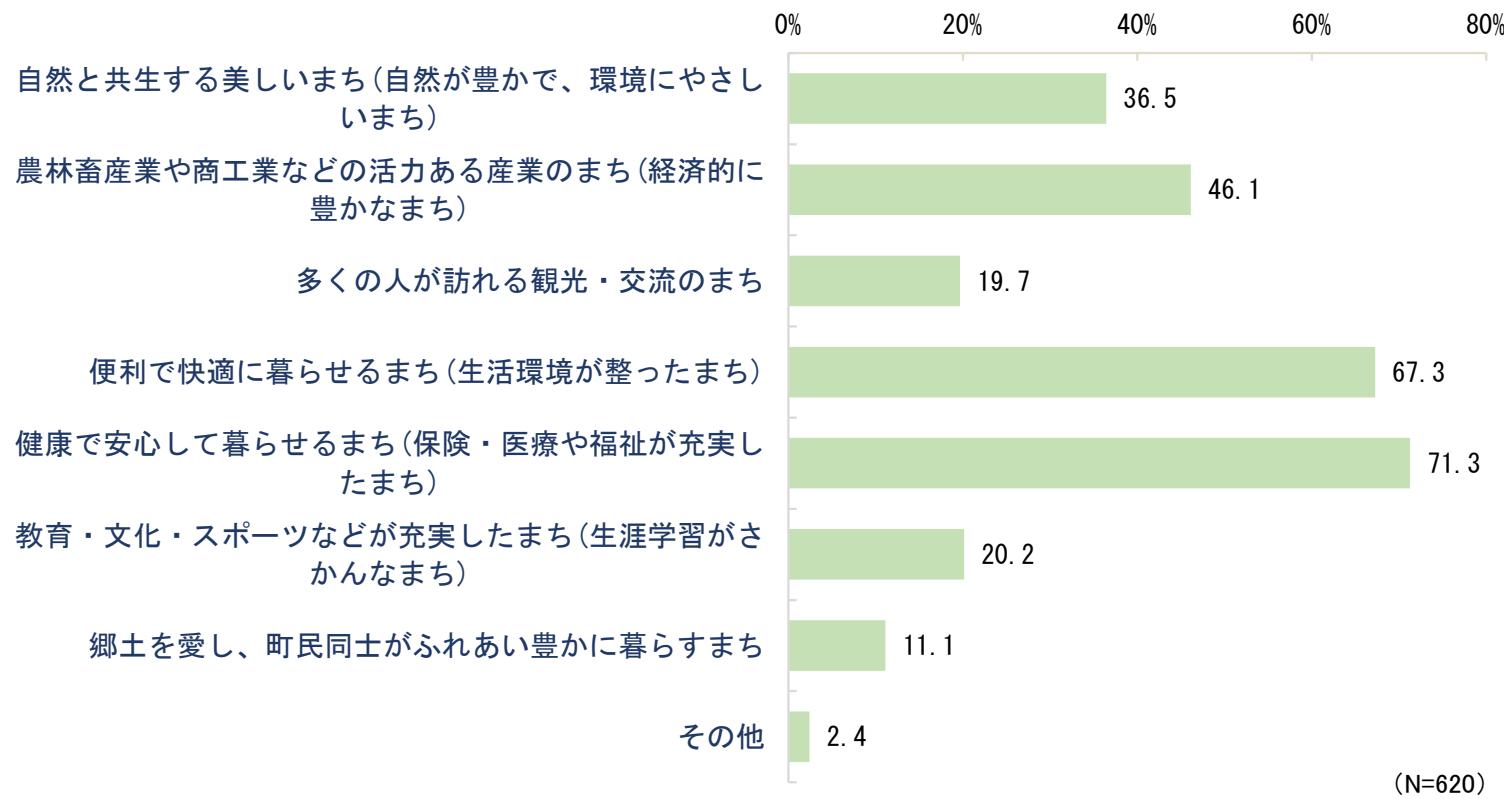


将来の美幌町をどのようなまちにしていきたいと思いますか。次の中から3つまで選び、番号に○印をつけてください。

【結果】

将来の美幌町に望む姿としては、「健康で安心して暮らせるまち (71.3%)」が最も多く、次いで「便利で快適に暮らせるまち (67.3%)」となりました。

【問6】将来の美幌町に望む姿(3つまで選択/620人)

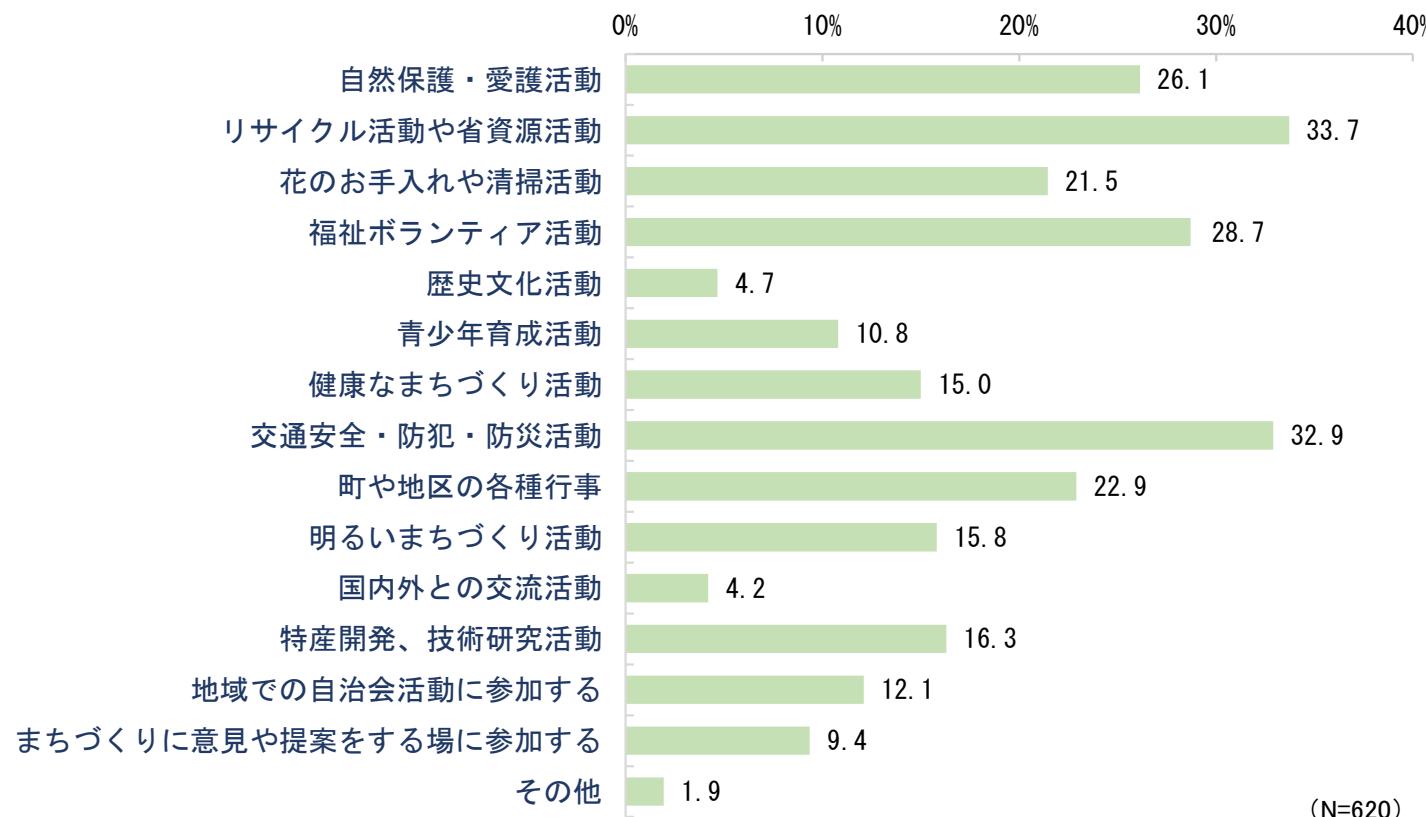


まちづくりを支える活動に参加するとしたら、どのような活動に参加したいと思いますか。すでに参加しているというのも含め、あてはまる番号すべてに○印をつけてください。

【結果】

参加したい（できる）まちづくり活動としては、「リサイクル活動や省資源活動（33.7%）」が最も多く、次いで「交通安全・防犯・防災活動（32.9%）」となりました。

【問7】参加したい（できる）まちづくり活動（すべて選択/620人）



これからの地域コミュニティのイメージの重要度について、ご自身の気持ちに当てはまるものをそれぞれ1つずつ選び、記号に○印をつけてください。

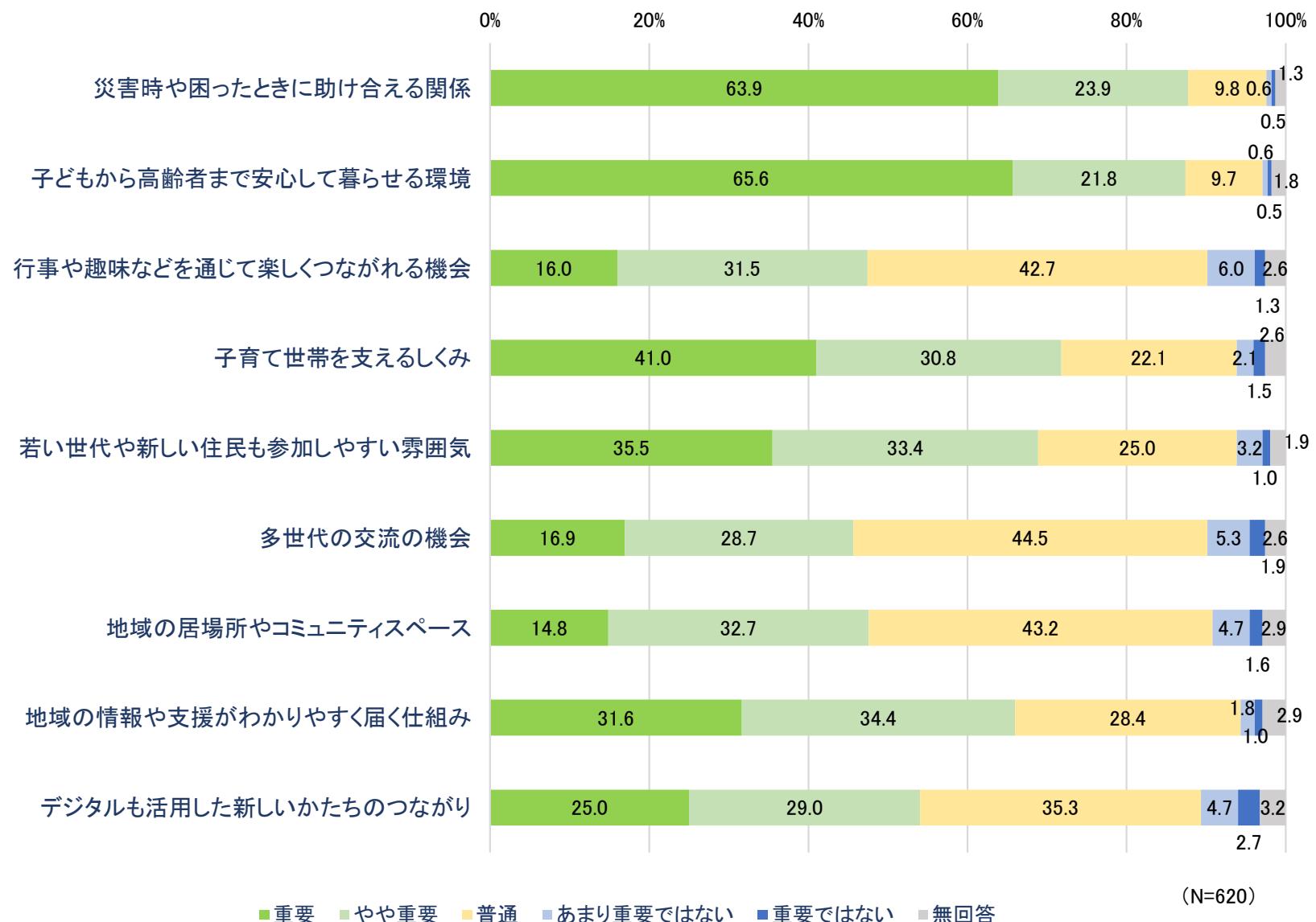
【結果】

これからの地域コミュニティのイメージの重要度については、「災害時や困ったときに助け合える関係」が「重要（63.9%）」「やや重要（23.9%）」、「子どもから高齢者まで安心して暮らせる環境」が「重要（65.6%）」「やや重要（21.8%）」と多くなりました。

次いで「子育て世代を支えるしくみ（重要：41.0%）」「若い世代や新しい住民も参加しやすい雰囲気（重要：35.5%）」も多くなりました。

	重要	やや重要	普通	あまり普通では	重要ではない	無回答
災害時や困ったときに助け合える関係	63.9%	23.9%	9.8%	0.6%	0.5%	1.3%
子どもから高齢者まで安心して暮らせる環境	65.6%	21.8%	9.7%	0.6%	0.5%	1.8%
行事や趣味などを通じて楽しくつながれる機会	16.0%	31.5%	42.7%	6.0%	1.3%	2.6%
子育て世帯を支えるしくみ	41.0%	30.8%	22.1%	2.1%	1.5%	2.6%
若い世代や新しい住民も参加しやすい雰囲気	35.5%	33.4%	25.0%	3.2%	1.0%	1.9%
多世代の交流の機会	16.9%	28.7%	44.5%	5.3%	1.9%	2.6%
地域の居場所やコミュニティースペース	14.8%	32.7%	43.2%	4.7%	1.6%	2.9%
地域の情報や支援がわかりやすく届く仕組み	31.6%	34.4%	28.4%	1.8%	1.0%	2.9%
デジタルも活用した新しいかたりのつながり	25.0%	29.0%	35.3%	4.7%	2.7%	3.2%

【問8】これから地域コミュニティのイメージの重要度について



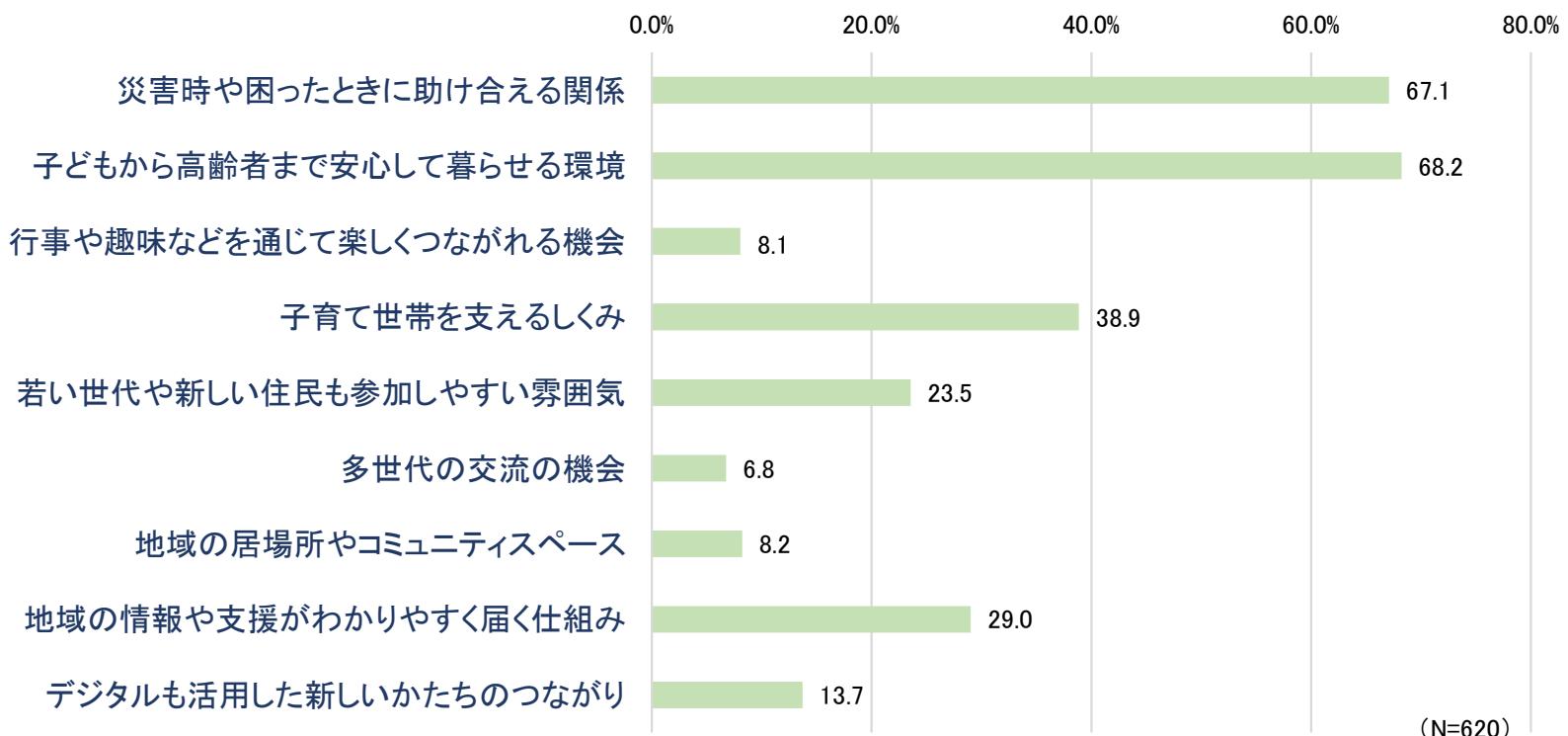
8項目の中で、今後のまちづくりで特に重要なものを3つまで選んで、下の枠に番号(1～9)をお書きください。

【結果】

今後の地域コミュニティで最も重要なものは、「子どもから高齢者まで安心して暮らせる環境 (68.2%)」が最も多く、次いで「災害時や困ったときに助け合える関係 (67.1%)」が多くなりました。

「子育て世代を支えるしくみ (38.9%)」も多い結果となりました。

【問9】今後の地域コミュニティで特に重要なものを(3つまで選択/620人)



アンケート自由回答

アンケートの自由記述の全体傾向

- ・ 人口減少対策と雇用・子育て支援が美幌町のまちづくりの重要な課題としてあげられている。
- ・ 自治会の衰退やコミュニティ維持が重要な課題としてあげられている。
- ・ 高齢化社会を背景に、公共交通・移動の利便性改善があげられている。
- ・ 医療・福祉の基盤強化は安心して暮らせるまちづくりの基盤としてあげられている。
- ・ 中心市街地・観光・特産品による活性化で外部からの人やお金の流れをつくることへの期待が多い。
- ・ 行政への信頼性や透明性を高めることの重要性があげられている。

①人口減少・少子化対策

【人口減少に対する危機感】

- ・「まちが消滅してしまう」「若者が出て行く」といった強い危機感。

【若年層・子育て世代の定住支援】

- ・保育・教育環境の充実、移住・Uターン促進策(住宅支援、祝い金、働く場の確保)への要望。

【企業誘致と雇用確保】

- ・労働の場がなければ若者は戻らないという指摘が多く、産業振興との連動が求められている。

【スマートシティへの言及】

- ・人口減少を前提にした持続可能なまちづくりの考え方も一部に見られる。

②公共交通・移動手段

【高齢者の移動確保】

- ・免許返納後の生活不便さに対する不安が大きい。昔のように「バスを1日1便でも」といった声。

【空港アクセス】

- ・女満別空港との接続バスの必要性が繰り返し指摘され、観光客受入れや外部交流にも寄与する。

【地域内移動】

- ・町内での買物・病院アクセスの不足、停留所の立地や待合環境(カフェ的空間など)への改善要望。

③福祉・医療

【医療の充実】

- ・ 小児科・産婦人科・耳鼻科の不足、診療時間の短さへの不満が目立つ。医師・看護師不足への不安。

【高齢者福祉】

- ・ 介護施設不足や老朽化、独居高齢者支援の必要性。交流の場やバリアフリー環境づくりを求める声。

【障がい者福祉】

- ・ ケアホームの欠如や入所施設不足への要望。

④地域コミュニティ・住民自治

【自治会の衰退】

- ・ 役員不足や解散、若者不参加への危機感。行政の具体的な支援を求める声。

【世代間交流の必要性】

- ・ 「若者と高齢者がお互いを尊敬できる関係づくり」など、つながりの回復への期待。

【住民参加型のイベント】

- ・ 東川町など他自治体の事例に触れながら、町民一体となる企画や官民協働を求める声。
- ・

⑤中心市街地・商業・観光

【商店街の衰退と空き家問題】

- ・シャッター街化への危機感が強く、文化交流施設や道の駅的な機能導入を求める意見。

【観光資源の活用】

- ・美幌峠やみどりの村などを活かした施設整備・イベント充実、滞在型観光や宿泊施設の不足解消。

【特産品・ブランド化】

- ・美幌らしい特産や食文化をもっと磨き、町外に誇れる「目玉商品」やレシピ普及を期待。

⑥生活環境・基盤整備

【道路・除雪】

- ・老朽化道路の補修、除雪の質や頻度への不満が出されている。

【ごみ・環境】

- ・収集頻度の不足(特に夏場)、資源ごみ回収の強化に対する意見が出されている。
- ・リサイクルやごみ処理施設に関する意見も出されている。

【公園・緑地】

- ・ドッグランや大型遊具、休憩施設整備への要望が多く出されている

【景観改善】

- ・空き家・廃墟撤去、街路樹や雑草管理など、まちの景観への不満が多く出されている。

⑦教育・子育て

【保育・学童】

- ・開園時間の柔軟化、学童保育の学年拡大など、共働き世帯のニーズに合っていないとの意見が出されている。

【美幌高校の魅力化】

- ・給食導入や進学支援、名称変更などを通じて存続・活性化を期待する意見が出されている。

【遊び・居場所づくり】

- ・屋内施設や放課後の居場所不足、小学生高学年以降が楽しめる場への要望が出されている。
- ・

⑧行政・行財政

【役場対応への不満】

- ・窓口サービスや職員対応に対する意見が出されている

【議員数や税金の使い方】

- ・町議の数が多すぎる、税金の使い道が偏っているとの意見。

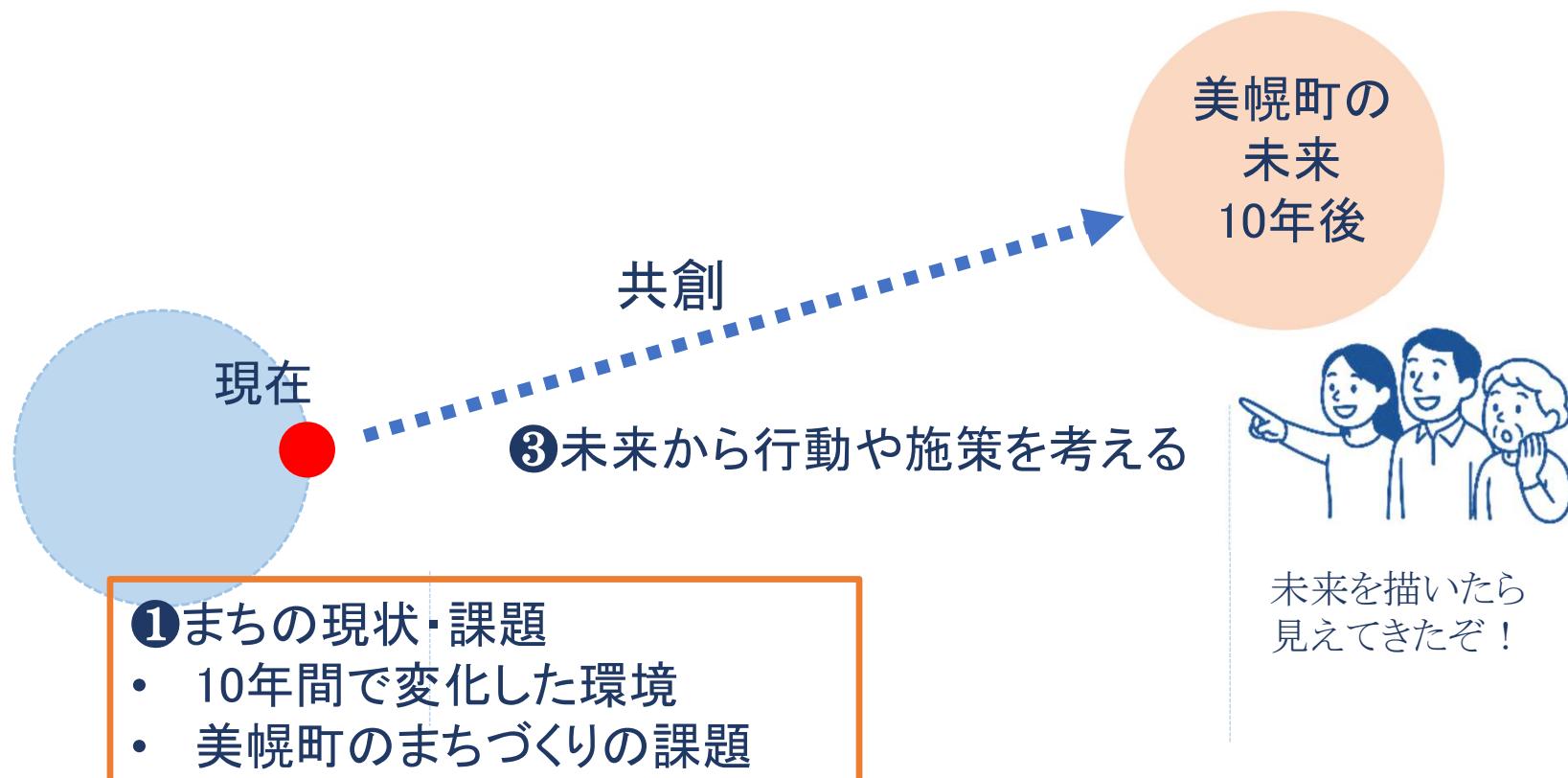
【情報不足】

- ・まちの施策や進捗が見えにくい、広報手段が高齢者に届かないといった指摘。

ワークショップ

今日のテーマ：美幌町の現状と課題

- ①美幌町の未来の姿を考える
- ②現状と課題も考慮した未来の姿



今日のワークショップ

①10年間で美幌町の取り巻く環境と変化について

- 皆さんが考えてきた「この10年間で町や町を取り巻く状況で変化したと思うこと」を付箋に書いてください
- 書き終わったら模造紙に付箋を貼ります
- 全員の付箋が貼り終えたら、出された意見を分類します
- 分類したものを見ながら、他に変化はなかったか意見交換をしてください

美幌町の変化(例)

- 人口が減少した
- 高齢化が進んだ
- ひとのつながりが希薄化になっているように思う
- 農業の後継者が不足している
- 外国人が増えた
- 中心市街地のにぎわいが少なくなった

②美幌町のまちづくりの課題

- 皆さんが考えてきた「『これからまちづくりで町が力を入れていくべきと思うテーマ』に関する各自が思う美幌町のまちづくりにおける課題」を付箋に書いてください
- 書き終わったら模造紙に付箋を貼ります
- 全員の付箋が貼り終えたら、出された意見を分類します
- 分類したものを見ながら、さらに課題がないか話し合ってください

美幌町の現状とまちづくりの課題(例)

- 人口減少・少子高齢化
- 地域コミュニティの希薄化(担い手が不足、交流の機会の減少)
- 農業の後継者が不足
- 中心市街地のにぎわいが少ない・空き店舗が増えている
- 若い世代の働く場所が少ない
- 観光客は美幌峠には来ているけれどまちなかには来ていない など

変化した環境

人口減少・高齢化



人材不足



インバウンドの増加



ゼロカーボン



美幌町のまちづくりの課題

人口減少・少子高齢化



働く機会づくり



地域コミュニティの活性化



にぎわいづくり



農業も後継者を確保する



グループでの話し合いのルール

①発言は1回、3分まで
長い話は印象残りません

②人の意見・アイディアを否定しないようにし
ましょう
町内会でも同じです

③今日はたくさんのアイディアを出すこと
が目的です

グループ発表

主な意見を紹介してください

- ・美幌町の変化した環境は〇〇と〇〇があげされました
- ・美幌町の現状やまちづくりの課題は「〇〇と〇〇…」があげられました
- ・分類したタイトルを見ながら簡単に紹介してください
- ・付箋を1枚ずつ紹介するのは時間の関係から避けてください